

●●施設
施設長 ●●殿

研究の説明書

私は現在、聖路加国際大学大学院博士課程に在籍し、精神障がいを持つ母親の体験について研究しております。この度、「精神障がいを持つ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験」という研究を実施するにあたり、研究へのご協力をお願いいたします。

I. 研究の目的と意義

精神障がいを持つ母親は、他者から支援を受けながらどのようにエンパワメントされ、母親としてあり続けているのかを記述し、母親へ支援を行っている支援者にとっての示唆を得ることを目的とします。

II. 研究方法

1. ご紹介いただきたい研究対象者

- 1) 統合失調症または気分障がい(大うつ病、双極性障がい)を有するお母様 (20～50代)。
- 2) 原則として25歳までのお子さんがいるお母様 (子どもと別居の場合も含む)
- 3) 現在精神症状は安定していて、1年以内に入院の経験がない方
- 4) インタビューに答えることで病状が悪化しないと施設の責任者が判断された方
- 5) 研究の趣旨に賛同し、自発的に参加をしてくださる方

上記の条件に該当する方を2～3名程度、ご紹介をお願い致します。

2. 調査期間

平成 26 年 3～10 月頃(対象者と相談して決定致します)

3. 調査場所

面接室などプライバシーが確保できる個室(対象者と相談して決定致します)

4. 調査方法

- I. 研究者が、研究対象者に対して、40～60 分程度のインタビュー調査を行います。研究対象者の許可が得られれば、詳細に分析するために IC レコーダーへの録音を行います。

II. 調査内容

- 病気について(病名、発症年齢、入院回数など)
- 結婚・出産から現在までのプロセス
 - ・妊娠前に子どもを作ることについての夫婦の考え、妊娠前に子どもを作ること誰かに相談したか
 - ・妊娠が分かった時の気持ち、妊娠から出産までに役に立ったサポート
- 一番病状が悪かった時に、子どもにどのように関わっていたか
 - ・その時の子どもの年齢、体調や一日の過ごし方
 - ・誰のどんなサポートが役に立ったか、サポートを受けた時の気持ち
- 子どもとの関わりで一番頑張った事、乗り越えたと思う事
- 子どもと関わる中で一番楽しかった事/嬉しかった事

III. 研究協力の依頼内容

施設の責任者が研究に同意される場合には、研究対象者の条件に該当するお母様のご紹介をお願い致します。また、お母様のご希望の場合は、貴施設の面接室などの使用を御願い致します。

IV. ご協力いただける方への倫理的配慮

- 1) 研究への参加・協力はご本人の自由意思を尊重します。
- 2) 研究に同意後またはインタビュー途中/終了後でも、いつでも協力を断ることができます。また研究に同意しなくても、研究の参加を取りやめても不利益になることはありません。(その場合、インタビューのデータは使用しません)
- 3) 答えたくない内容には答えなくてもかまいません。
- 4) インタビューはプライバシーの保持ができる面接室などの個室で行い、研究対象者の同意を得たうえで録音します。
- 5) 対象者の氏名および連絡先等は研究者のみが把握し、個人情報保護法およびその他関連諸法規を遵守します。
- 6) 録音内容や資料などの個人情報は個人が特定できないように記号化し、パスワードで保護された USB フラッシュメモリに保存し、鍵のかかるキャビネットにて、研究者のみが管理します。
- 7) 録音内容や資料などは分析のために卒業後3年間保存後、シュレッダーにかけ破棄します。
- 8) 博士論文としてまとめ学会などで公表する場合でも、対象者の秘密は保全されます。
- 9) 責任者から研究対象者の紹介を受けますが、最終的に研究対象者になったかどうかについては、責任者には知らせません。
- 10) 研究に参加することで、お母様とお子さんとの関わりを振り返り、人生の意味について考えるきっかけになること、また同じ立場で育児を行うお母様に対する今後の支援において役立てることができるようにお話を伺いたと思います。
- 11) 対象者にとってインタビューが負担になっていると判断される場合には、研究者のほうから中止を申し出ます。中止後は、研究対象者の心理状態をよく観察し、疲労の軽減を行います。
- 12) インタビューによる悪影響を及ぼさないように、また、心理的影響が最小限になるように十分配慮し、インタビュー中は支持的、受容的な態度で接し、研究対象者が話しやすい雰囲気を作るよう配慮します。

尚、本研究についてご不明な点などありましたら、お手数ですが下記あてにお問い合わせをお願い申し上げます。

研究者:村方 多鶴子

所属機関:聖路加国際大学大学院 博士後期課程

所属機関住所:〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

E-mail: ○○@slcn.ac.jp

指導教員:萱間 真美(聖路加国際大学 精神看護学教授)

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号:13-066

様

調査へのご協力のお願い

私は現在、聖路加国際大学大学院博士課程の学生で、「精神障がいを持つ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験」について調査しております。ご自身や同じ体験をされているお母様への支援方法について役立てていきたいと思いますので、インタビューへのご協力をお願いします。

I. 調査の目的

精神のご病気を持つお母様への子育て支援は、まだ十分とは言えません。そのため、お母様方が体調や様々な問題をコントロールしながら、どのようにお子さんと関わり、乗り越えていらっしゃるのかを教えていただき、皆様の体験をまとめ、今後のサポートに結び付けていきたいと考えております。

II. 調査方法

1. 調査のご協力をお願いしたい方

- 1) 精神科のご病気で現在治療を行っていらっしゃるお母様（20代～50代）
- 2) 原則として25歳までのお子さんがいらっしゃるお母様（お子さんと別居の場合も含みます）
- 3) 現在ご病気の症状は安定していて、この1年間に入院をしていない方
- 4) インタビューに答えることが負担でない、または不安定にならないとご自分が考えられる方
- 5) 研究の説明を聞いて、ご自分で話をしてもいいと思われる方

2. お話を伺う日時

平成26年3～10月頃で、原則として1回40～60分程度のインタビューを予定しています。（場合により、追加のインタビューをお願いすることもあります。日時はご相談の上決定いたします）

3. お話を伺う場所

面接室などのプライバシーを保つことができる個室（ご相談の上、決定いたします）

4. インタビューの方法

- 1) 研究者が、お母様に対して聞き取り調査を行います。もしよろしければ、お話の内容をくわしく理解するために、録音させていただきたいと思います。
- 2) 教えていただきたい内容
 - 病気について(病名、発症年齢、入院回数など)
 - 結婚・出産から現在までのプロセス
 - ・妊娠前に子どもを作ることについての夫婦の考え、子どもを作ること誰かに相談したか
 - ・妊娠が分かった時の気持ち、妊娠から出産までに役に立ったサポート
 - 一番病状が悪かった時に、子どもにどのように関わっていたか
 - ・その時の子どもの年齢、体調や一日の過ごし方
 - ・誰のどんなサポートが役に立ったか、サポートを受けた時の気持ち
 - 子どもとの関わりで一番頑張った事、乗り越えたと思う事
 - 子どもと関わる中で一番楽しかった事/嬉しかった事

Ⅲ. お約束すること

- 1) スタッフから研究の紹介があっても、協力するかどうかはご本人の自由です。原則として研究への協力の有無はスタッフには伝えません。
- 2) 研究への参加・協力はご本人の自由意思を尊重します。
- 3) 研究に同意後またはインタビュー途中/終了後でも、いつでも協力を断ることができます。また研究に同意しなくても、研究の参加を取りやめても不利益になることはありません。(その場合、インタビューのデータは使用しません)
- 4) 答えたくない内容には答えなくてもかまいません。
- 5) インタビューはプライバシーの保持ができる面接室などの個室で行い、お母様の同意を得たうえで録音します。
- 6) お母様の氏名および連絡先等は研究者のみが把握し、個人情報保護法およびその他関連諸法規を遵守します。
- 7) 録音内容や資料などの個人情報は個人が特定できないように記号化し、パスワードで保護された USB フラッシュメモリに保存し、鍵のかかるキャビネットにて、研究者のみが管理します。
- 8) 録音内容や資料などは、分析のために卒業後 3 年間保存後、シュレッダーにかけ破棄します。
- 9) 博士論文としてまとめ学会などで公表する場合でも、お母様やご家族の秘密は保全されます。
- 10) 施設の責任者からお母様の紹介を受けますが、最終的にお母様が研究を引き受けられたかどうかについては、責任者には知らせません。
- 11) お母様が研究に参加することで、お子さんとの関わりを振り返り、人生の意味について考えるきっかけになるよう、また同じ立場で育児を行うお母様に対する今後の支援において役立てることができるようにお話を伺いたいと思います。
- 12) お母様にとってインタビューが負担になっていると判断される場合には、研究者のほうから中止を申し出ます。
- 13) インタビューが負担にならないように、話しやすい雰囲気を作るよう配慮します。

この調査についてご不明な点などありましたら、お手数ですが下記あてにお問い合わせをお願い申し上げます。

研究者:村方 多鶴子

所属機関:聖路加国際大学大学院 博士後期課程

所属機関住所:〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

E-mail: ○○@slcn.ac.jp

指導教員:萱間 真美(聖路加国際大学 精神看護学教授)

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号:13-066

研究協力・参加連絡書

本調査のご承諾をいただきありがとうございました。今後の連絡方法について、以下の1～3のうち、ご希望の方法でご連絡ください。

1. E-mailでの連絡を希望される方

お手数ですが、研究者のE-mail（E-mail：〇〇@slcn.ac.jp）に、①ご協力の意向があること、②インタビュー希望の日時、③返信先E-mailアドレスを記載し、送信下さい。インタビュー日程と場所について、メールにてご相談させていただきます。

2. 郵送での方法で連絡を希望される方

以下についてご確認・ご記入のうえ、同封の封書にて投函をお願いします。

私は「精神障がいを持つ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験」を明らかにする研究について、内容を理解し、この研究に協力します。

平成 26 年 月 日 お名前 様

1) ご希望のインタビューの日程

- 第一希望：平成 26 年 月 日 時～ 時
- 第二希望：平成 26 年 月 日 時～ 時
- 第三希望：平成 26 年 月 日 時～ 時

（インタビューは 40～60 分程度の予定です。ご希望の日時と時間をご記入下さい。）

2) ご希望の面接場所

3) ご連絡先*：〒

（* 郵送を希望される場合にのみ、住所をご記入下さい）

3. 電話での連絡を希望される方 電話番号：

研究者：村方 多鶴子

所属機関：聖路加国際大学大学院 博士後期課程

所属機関住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学

E-mail：〇〇@slcn.ac.jp

指導教員：萱間 真美（聖路加国際大学 精神看護学教授）

聖路加国際大学
学長 井部 俊子 殿

研究協力の同意書

私は、「精神障がいを持つ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験」について、研究担当者から説明文書を用いて説明を受け、その内容を十分理解し、この研究に参加・協力することに同意します。

平成 年 月 日

研究対象者氏名(署名) _____

説明者氏名: (署名) _____

聖路加国際大学 研究倫理審査委員会承認番号: 13-066

聖路加国際大学
学長 井部 俊子 殿

研究協力 断り書

私は「精神障がいを持つ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験」についての研究協力に同意しましたが、この度、協力を中止することにしましたので、通知します。

日付:平成 年 月 日

氏名(署名):

インタビューガイド

このたびは、調査にご協力いただきありがとうございます。

ご病気と付き合いながら、お子さんと関わっていらっしゃるお母様の「エンパワメント」の体験を明らかにして、お母様とお子さんへの支援方法について考えていきたいと思いますので、下記の内容について、ぜひお話を聞かせてください。

教えていただきたい内容

1. 今までにインタビューを受けたことや体験発表などの経験はありますか？
2. ご自身やご家族のことについて教えてください（年齢、家族構成など）。結婚・出産から現在までのプロセスについて教えてください。
 - 妊娠前に、子どもを生むことについてご夫婦でどのように考えていらっしゃいましたか？
 - 妊娠前に、子どもを作ることを誰かに相談しましたか？
 - 妊娠が分かった時どんなお気持ちでしたか？
 - 妊娠から出産までに、役に立ったサポートはどんなことですか？
 - 印象に残っている場面で、誰の、どのような言葉かけや具体的な支援が役に立ったか、教えてください。
3. 今までで一番体調が悪かった時、お子さんにどのように関わっていらっしゃいましたか？

- お子さんが何歳頃のことですか？
 - ご自身の体調はいかがでしたか？
 - 一日をどのように過ごされていましたか？
 - 誰のどんなサポートが役に立ちましたか？

}

具体的な場面を教えてください。

◇ 専門職：精神科医、看護師、訪問看護師、保健師、作業所・地活スタッフ、びあ

◇ 家族：夫、自分/夫の両親、きょうだい、友人

◇ 幼稚園・保育園の職員など

 - サポートを受けてどんなお気持ちでしたか？
4. お子さんとの関わりで、一番頑張ったこと/乗り越えたと思うことはどんなことですか？
 - お子さんが何歳ころで、どんなことを頑張ってこられましたか？
 - その時のお子さんの反応はどうでしたか？
 - 誰からどんなサポートがありましたか？
 - 頑張れた理由は何だと思えますか？
 - 乗り越えて今どんなお気持ちですか？
5. お子さんに関わる中で、一番楽しかった/嬉しかったことはどんなことですか？
 - お子さんが何ヶ月ころで、どんなことですか？
6. ご自分の体験を振り返って、お子さんはご自身にとってどんな存在か、教えてください。

基礎情報用紙

1. インタビュー概要

- 1) 日時
- 2) 場所

2. 研究対象者に関して

- 1) 年齢
- 2) 家族構成
夫 :
第 1 子 :
第 2 子 :
第 3 子 :
父親・母親
姑・舅
- 3) 現在の子どもとの同居の有無・同居期間

3. 病気に関して

- 1) 診断名
- 2) 発症年齢
- 3) 入院回数
- 4) 罹病期間